

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム朋寿
日付	平成16年12月14日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	老人保健施設での相談援助業務歴 5年 病院（老人病棟）での看護業務歴 18年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

#### 外部評価の結果

<b>總評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年10月に、当初2ユニットで開設されたグループホームですが、その後もう1ユニット追加され、現在3ユニット27人の方が入居されています。ユニット間は広い渡り廊下でつながっていて、お互いの行き来が自由にできます。</li> <li>共有部分が広々としていて、特に2つのユニットをつなぐ渡り廊下は、全入居者やご家族が参加してのイベントを開催することも可能です。</li> <li>共有部分には、畳が敷いてあったり、テーブルやソファが置いてあり、それぞれがお気に入りの場所でゆったりとくつろがれています。</li> <li>大きな壁面が殺風景にならないように、かといって幼稚な飾り付けがされているわけでもなく、程よく工夫がされています。</li> <li>建物が大きいので、警報装置など、やや施設的な部分が見られましたが、暖簾をかけた時、花を飾るなどの工夫が見られました。</li> <li>管理者は、職員の意見に柔軟に対応しているという気持ちがあり、職員も「将来自分が暮らすとしたら」という気持ちで入居者の方と接していらっしゃいます。</li> <li>病院勤務を経験されたことのある職員からは、自分たちが対象とするのは疾患ではなく人間としてのかわりであるという、認識度の高い前向きなお気持ちが聞けました。</li> <li>どの入居者も笑顔の見える豊かな表情をされていました。職員のケアに対する姿勢も好感が持てました。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関は通常施設されていますが、出られないことによるストレスから、かえって思いがけない事故が発生することも考えられます。施設されない工夫をされてはいかがでしょうか。</li> <li>経験を尊重するという部分では、もう少し過去の生活歴や、生育歴について細かな情報収集をして、生活の中で生かせる工夫が必要ではないでしょうか。</li> <li>事故の再発防止に向けての取り組みが薄いように感じました。「介護事故報告書」の書式も、事故の背景や再発防止に向けての対策の記載欄がなく、様式の改善が必要かと思えます。何故起きた事故なのか、どうすれば再発が防げるのか、みんなで考える機会となるような書式にして、傾向の分析や再発防止に役立てていけるような取り組みをなさってはいかがでしょうか。</li> <li>医療機関への定期的な受診が少なく、お薬の処方だけが多い点が気になりました。高齢者では、症状が前面に出にくいという特性もありますので、一見変わりなくても、定期的な受診は必要ではないでしょうか。</li> <li>建物全体が大きいので家庭的な空間作りが困難な面が感じられますが、今以上に視覚的な配慮等をされて、ある程度閉じられた空間作りなども試行されると良いのではないのでしょうか。</li> </ul>

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活が困難になった入居者と職員とが、一つの家族のように生活しながら、同じように笑い、楽しむことができるようなグループホーム作りを目指しています。</li> <li>職員は、将来自分が入りたくなるようなグループホームにしたいと考えておられます。そのためには、枠にこだわらず、より自由な生活ができるようにと願っています。</li> </ul>		

#### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者同士が自由に交流できるように、ユニット間の通路を開放し、閉鎖感をなくす工夫がされています。</li> <li>雨の日など戸外に出られない時は、ユニット間でお互いに声を掛け合っ、一緒にゲームをしたり、いろいろなイベントを企画したりして、生活が単調にならないように工夫がされています。</li> </ul>		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

#### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常、居室のドアは閉められていて、一人でゆっくりしたい方の時間を大切にしています。</li> <li>トイレや浴室のドアは、きちんと閉められています。入浴時には、目隠しに温泉風の大きな暖簾がかけられています。</li> <li>居室のドアに透明の覗き窓がありますが、暖簾をかけた時、千代紙を張るなどして、プライバシーの保護に配慮されています。</li> <li>一人でできることは、時間をかけても見守りながらしていただいています。</li> </ul>		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員も入居者も一つの家族と思っていただけのようなグループホーム作りをしたいとの思いで、日々努力されています。</li> <li>問題が発生したときには「介護事故報告書」に経過を記入するようにしています。ただ、こうした報告書をより有効に生かすための工夫が必要ではないでしょうか。</li> </ul>		